

湖南高校だより



体験が未来を拓く加に

もちつき大会

十二月一日(水)、昨年度に引き続き第二回もちつき大会を行いました。講師は阿部由美子さん、志賀節子さん、宗像裕子さん、増子通子さん、大山洋子さんです。期末考査終了後、生徒は体育館に集合し、学年ごとに蒸し上がった餅米を櫂の臼に入れ、杵で潰していく「半殺し」を行い、一人五回程度もちをついていきました。生徒



「よいしょっ!」臼と杵を使ったもちつきは最高です。

一人一人がもちをつく度に周囲から掛け声が飛び、大いに盛り上がりました。今回はつゆもち、あんもち、きなもち、しょうがもち、大根もち、納豆もちが提供されました。使用した餅米は二斗、生徒はつきたてのもちに舌鼓を打ち、たくさんおかわりをしていました。もちを食べられない生徒には「味おこわ」が提供されるなど、参加者全員が楽しめる素晴らしい行事となりました。閉会式では、生徒会長から講師の方々へお礼のことが述べられ、生徒たちは湖

英気養う協働的な学び

そば収穫祭



そば打ちに励むそば部部長三瓶模也君(蓬瀬中出身)。

十二月十五日(水)、「蕎麦プロジェクト」の集大成である「収穫祭」が開催されました。七月三十日の種まきから一三八日。生育観察、収穫、脱穀・選別を経て、ついに全校生によるそば打ちの日を迎えることができました。今年のそばの収穫量は

「蕎麦プロジェクト」の集大成である「収穫祭」が開催されました。七月三十日の種まきから一三八日。生育観察、収穫、脱穀・選別を経て、ついに全校生によるそば打ちの日を迎えることができました。今年のそばの収穫量は



地域の方々と一緒に盛り上がった収穫祭でした。

昨年の五十八kgから九十kgに増加しました。当日は、ボランティアや学校視察として、県内外から約五十名が来校しました。今回も中野生産組合代表・桑名秀一郎さんを中心に、生徒は十三班に分かれ、スクリーンに投影された佐藤亮さんの実演の様子を見ながらそばを打ちました。また、桑名佐奈恵さんと特別ゲストによる「湖南蕎麦口上」や生徒たちが練習を続けてきた「福良盆踊り太鼓」が行われ、昨年以上の盛り上がりを見せました。生徒たちは実食の時間になると同窓会の方々に

ち、大根もち、納豆もちが提供されました。使用した餅米は二斗、生徒はつきたてのもちに舌鼓を打ち、たくさんおかわりをしていました。もちを食べられない生徒には「味おこわ」が提供されるなど、参加者全員が楽しめる素晴らしい行事となりました。閉会式では、生徒会長から講師の方々へお礼のことが述べられ、生徒たちは湖

十一月九日(火)、一年生がブレ・インタラシップを行いました。今年から始まったこの学習は、総合的な探究の時間の一つとして地域の方々や働く現場で体験学習を行い、地域の産業や魅力を学ぶことを目的としてい

十一月九日(火)からの三日間、二年生がインターンシップに行ってきました。この学習は生徒が正しく職業内容を理解し、働くことの意義を学ぶことを目的に毎年行われています。今年も、有限会社小原自動車整備工場、渡富建設株式会社、鈴木医院を始め、多くの方々にご協力いただきました。生徒は積極的に活動し、職種や業種研究はもちろん、社会人としてのルールやマナー、心構えなどを学ぶことができました。将来の進路を決め

ます。当日は四つの班に分かれ、株式会社美農然、株式会社KONAN地域介護支援センターにじのかけはし、サウスレイク・コテージ田舎、株式会社南東北クボタ湖南営業所において実習を行いました。生徒たちは、これまでの探究活動や事前学習で考えた内容を踏まえ、積極的に地域の産業に関わっていただき、地域の魅力と課題をこれまでと違った視点から見つめ直す機会となりました。



自分の言葉で後輩にアドバイスを送る3年生。

る生徒や実習先の企業からスカウトされる生徒もいました。

十一月九日(火)からの三日間、二年生がインターンシップに行ってきました。この学習は生徒が正しく職業内容を理解し、働くことの意義を学ぶことを目的に毎年行われています。今年も、有限会社小原自動車整備工場、渡富建設株式会社、鈴木医院を始め、多くの方々にご協力いただきました。生徒は積極的に活動し、職種や業種研究はもちろん、社会人としてのルールやマナー、心構えなどを学ぶことができました。将来の進路を決め

十二月十六日(木)、進路体験発表会を行いました。この発表会は進路を実現させた三年生が、自身の進路活動を通して努力したことや大切に思ったことなどを後輩たちに伝えるためのものです。先輩から貴重な話を聞くことができ、一・二年生は真剣な表情でメモを取ったり質問をしたりしていました。先輩のアドバイスには「委員会や部活動、学校行事に真剣に取り組むこと」や「とにかく早くから自分のやりたいことを決めて準備をすること」など、後輩への思いやりに溢れた内容が多くあり、先輩と後輩の心の距離の近さを強く感じる発表会となりました。

十二月三日(金)、校長室において湖南地区「少年の主張発表大会」表彰式が行われました。高校の部において、二年奥山大地君(大槻中出身)の「いじめをなくそう」が最優秀賞に、一年藤原早稀さん(郡山一中出身)の「少子高齢化社会でできること」が優秀賞に選ばれました。奥山君は「いじめ」をテーマに飾らない言葉で自身の小・中学校時代の経験と現在の自分が思うことについて述べました。藤原さんは少子高齢化社会について詳しく調べた内容をもとに自身の考えを幅広く述べました。郡山市青少年健全育成湖南地区協議会会長結城博さんからは「この主張がこれからの行動と将来に向けて、明るくたくましく、前に進んでいく糧になることを期待しています」との言葉とともに、賞状と盾、副賞が贈られました。

十二月六日(月)、第二回校内ミニバトロボール大会を行いました。

十二月六日(月)、第二回校内ミニバトロボール大会を行いました。

十二月六日(月)、第二回校内ミニバトロボール大会を行いました。

十二月六日(月)、第二回校内ミニバトロボール大会を行いました。

十二月六日(月)、第二回校内ミニバトロボール大会を行いました。

十二月八日(金)、今年もそば部が年越しそばを打ちました。今年もそば部が年越しそばを打ちました。今年もそば部が年越しそばを打ちました。

十二月八日(金)、今年もそば部が年越しそばを打ちました。今年もそば部が年越しそばを打ちました。

十二月八日(金)、今年もそば部が年越しそばを打ちました。今年もそば部が年越しそばを打ちました。

十二月八日(金)、今年もそば部が年越しそばを打ちました。今年もそば部が年越しそばを打ちました。

十二月八日(金)、今年もそば部が年越しそばを打ちました。今年もそば部が年越しそばを打ちました。

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃおう』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡下さい。

湖南高校まるわりの近道、学校ホームページは常時更新しています。下記のQRコードからご覧下さい。

見事、合格を勝ち取った大山絢也君。国立大学合格は12年ぶりです。

猪苗代子

猪苗代子

編集後記

本校三年生の大山絢也君(湖南小出身)が福島大学行政政策学類に合格しました。彼は本校のコミュニティ・スクール(以下CS)の活動を通して、湖南地域の創生に関心をもちようになった生徒の一人です。絢也君は「湖南高校には幅広い探究活動があります。地域の協力もあります。CS活動に当事者意識を持つことが一人一人の成長に繋がると感じます」と語ってくれました。大学でさらなる研鑽を積み、湖南の活性化に貢献してくれることを願っています。